



梅田だより

茅ヶ崎市立梅田小学校 TEL85-1125

めざす児童像「やさしく かしく たくましく」

令和5年12月1日

12月号

NO. 605

校長 大久保仁晶



令和5年度全国学力・学習状況調査結果

4月18日に6年生が実施した令和5年度全国学力・学習状況調査の本校の結果を分析しましたので、概要を報告させていただきます。

○国語の結果より

「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見つける」「情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う」「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心を捉える」の正答率が高かったです。一方「日常よく使われる敬語を理解している」問題にやや苦手意識が見られました。

○算数の結果より

「比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる」「示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から判断できる」「『以上』の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができる」「グラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述できる」問題の正答率が高かったです。特に、苦手意識も見られませんでした。

○児童質問紙の結果より【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- ・自分にはよいところがある
- ・先生はあなたのよいところを認めてくれている
- ・先生は、間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれている
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたい
- ・学校に行くのは楽しい
- ・人の役に立つ人間になりたい
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい
- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい
- ・5年生までに受けた授業：・PC・タブレットなどのICT機器の活用
- ・課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んだ
- ・自分に合った考え方、教材、学習時間などになっていた
- ・学級で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- ・学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見から解決方法を決めている
- ・国語・算数・英語の勉強について
- ・好き
- ・大切
- ・内容はよくわかる
- ・社会に出たときに役に立つ
- ・国語の授業で、言葉には相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいる
- ・国語の授業で、違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして考えをまとめている
- ・物語を読むときに、物語全体を具体的にイメージし、描かれているのかに着目している

【肯定的な回答の割合が低かったもの】

- ・今住んでいる地域の行事に参加している

自己肯定感の高さと5年生までの学習の積み重ねが感じられる回答が多かった印象です。

本調査により測定できるのは、あくまでも学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことから、本校の取り組みの成果や課題のすべてを映し出しているものではありません。本調査結果により見えてきた成果や課題を参考に、一人一人の子どもの学習改善や望ましい生活習慣の確立につながる教育活動を進めていきたいと思っております。